

【令和6年度研究主題】

基礎基本が定着する授業づくり

【研究仮説】

練習問題を多く解くことで基礎基本が定着するのではないか。

【目指す児童像】

低：図や具体物を使って、問題を解くことができる

中：既習事項から手がかりを掴んで、問題を解くことができる

高：自分にあった解き方を用いて、問題を解くことができる

(1) 基礎基本とは？

その単元で身につけさせたい知識や技能

(2) 基礎基本（知識技能）と思考力の関係性

教え込みを推奨しているわけではない

指導要領算数編P24④

反復練習 具体物や半具体物の操作 など単元の特性に応じて

「知識技能を習得させるのに有効な学習活動は何か」を考える

(3) 仮説の解釈

練習問題を多く解くことができるような工夫

・時間

・機会

だけでなく

類題を多く解ける＝本時の学習が理解できている → 理解（習得）させる工夫

(知識技能を習得させるのに有効な学習活動は何かを研究)

(4) ドリルパークの活用について

- ・単元に入るまでに前学年の学びがつながるよう系統表を使って復習
- ・授業中に教科書の練習問題だけでなく、追加で解く
- ・「朝の学習」の時間に自分に必要な復習、予習を選んで取り組む
- ・AI機能を用いて児童の苦手や得意に合った問題を出題する